



前立腺肥大症

前立腺は精液を作る臓器で、男性の膀胱^{ぼうこう}の出口にあり尿道が中を通ります。前立腺の肥大が起こると、尿が出にくい・尿が近いといった症状のほか、夜間頻尿、残尿感、尿線途絶、遷延性排尿(排尿に時間がかかる)の症状が出ます。治療には薬物療法と手術療法があり、当院では出血の少ない身体にやさしいレーザー手術を行うなど、患者さんに合わせた治療法を選択します。

前立腺癌

日本人男性の癌罹患率1位となった前立腺癌は、現在PSA(前立腺特異抗原)の採血とMRIを組み合わせることで早期発見が可能です。治療には内分泌療法、化学療法、放射線治療、手術療法があり、患者さんと相談の上で選択します。ロボット補助手術や放射線治療(将来的には重粒子線治療)は山形大学と連携して治療を行っています。

慢性前立腺炎

慢性前立腺炎は20歳以上の男性に多く見られ、^{こうがん} 辜丸、^{しんのう} 陰囊、^{そけいぶ} 鼠径部、^{えいんぶ} 会陰部などに違和感や鈍痛を自覚する病気です。細菌やウイルスなどの感染症が原因となるほか、長時間の会陰部の圧迫や骨盤内のうっ血でなることもあります。治療は薬物療法が行われますが、なかなか治りにくく治療が長期に及ぶことが珍しくありません。

いずれも、早めの受診で原因をつきとめて治療すると症状の進行が防げます。詳細は市民公開セミナーでお話ししますので、気になる症状がある人や興味を持った人は是非おいでください。

<市民公開セミナーを開催します>

- 日時/8月25日(土) 開場9時30分・開演10時
- 場所/すこやかセンター ■参加費/無料※申込不要

■問合せ/市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

目指せ!! 健康長寿日本一



第4回 健康長寿のまちづくり 実現に向けた企業との連携

市では、健康長寿のまちづくりの実現に向けて優先的に取り組む課題を5つ挙げています。

- ①高齢者の社会参加と生きがいづくり
- ②食育
- ③運動
- ④健診受診率向上と健康経営
- ⑤米沢の豊かな自然と学園都市米沢としての取り組み

これらの課題は、市だけでなく、企業や各団体と連携を図りながら市民の皆さんと一緒に取り組んでいく必要があります。

この7月19日(土)に、本市が県内市町村としては初となる、第一生命保険株式会社との健康増進に関する内容の協定を結びました(山形県は既に協定を結んでいます)。米沢市における地域社会の発展と市民サービスの更なる向上のために、連携して事業を進めていくことを目的としています。

本市の特定健診受診率は県内で最も低くなっています。こうしたことから、第一生命保険株式会社と協定を結び「顧客窓口での健診受診の勧奨」など、市から健診を勧めていくだけでなく、協定先と健診受診を勧めていきたいと思っています。また、10月6日(土)・7日(日)の生涯学習フェスティバルにおいて、血管年齢や肌年齢などを測定できるブースが第一生命により開かれます。市民の皆さんが健康に興味を持つきっかけ作りになればと思っています。

その他にも、協定を結んだことで、市民の皆さんが楽しみながら健康づくりができるように、取り組んでいきます。



■問合せ/健康課健康企画担当 ☎ 24-8181